

令和3年度

学校法人北照高等学校 学校評価書

学校法人 北照高等学校  
理事長 藤田 征晴 様

令和3年度学校関係者評価を、教員自己評価・校務分掌、学年の自己評価・生徒質問票による自己評価分析結果に基づき下記の通り取りまとめましたので報告いたします。

1. 学校関係者評価の実施について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、理事役員会及び PTA 総会を中止にしたため、下記役員に文書を回覧し、学校関係者評価を行った

- ① 学校法人北照高等学校理事・評議委員会の役員
- ② 北照高等学校 PTA 役員

2. 評価項目と評価内容

① 教育活動について

令和2年度に続き、新型コロナウイルス感染症により、計画の変更や延期があった中、授業規律や生徒の学習に取り組む姿勢は、良好な状態が続いているとの報告があった。一方で、生徒の自己肯定感や学校に対する愛着等がコロナ禍以前に比べると低くなっていることが伺え、コロナ禍の2年間で生徒が以前より学校で過ごす時間が短くなったことや密度がうすくなってしまったことの影響が感じ取れる。そのような中でも、外部の検査や模試により生徒の適応能力や性格、学力を客観的に評価して生徒指導の指針にしようという努力を継続していることは評価したい。可能であれば、その評価をどのように利用しているか、指導の結果生徒がどのように変わっているのかが報告に入れて欲しい。

加えて、スポーツコースの学力差が大きいことや進路に意欲的に取り組む生徒のために、クラス編成を工夫する準備があることにも期待をしたい。

令和3年度はおおむね良好な状況だと考えるため、令和4年度も引き続き設置している2つのコースの特性を生かして堅実な教育活動を続けて欲しい。

② 生徒質問票の分析結果について

満足度の数値は、上昇傾向だった昨年度までから下降してしまい、満足度の平均値が2%ほど下がってしまった。特に普通コースの満足度が下がってしまっているのが心配である。確かにコロナ禍の影響は少なからずあると思われるが、原因を詳しく分析し、令和4年度の学校運営に役立てて欲しい。近年は、満足度に影響を与える要因が多様化しているとのことであるが、生徒間、生徒・教員間の良好な人間関係やコースの特性を生かした教育など生徒に評価されている部分は大切にしたい。

③ 総 評

令和3年度の教育活動を精査した結果、前向きに学校改革を進めている様子を確認することができた。生徒の評価についてもやや低下したものの、高い水準は維持できていることから、良好と判断したい。今年度も「克己復礼」の校訓に基づき、親身に教育活動を行って欲しい。

上記の通り報告いたします。

令和4年5月13日

北照高等学校保護者と教師の会会長

川口 政康

